

# のだネット通信

創刊号  
平成 17 年 7 月  
発行

**中核地域生活支援センターのだネット**（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）

TEL 04-7120-4112/FAX 04-7120-4113

〒270-0222 野田市木間ヶ瀬5423-1 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

## のだネット通信発刊にあたって

山本 進（のだネット所長）

中核地域支援センターのだネットが昨年10月に開設されてから9ヶ月が経過しました。年齢や障害による違いを超えて、市民の相談を受ける窓口は「何でも相談窓口」としてすでに野田市役所に設置され、先進的に取り組まれていました。そこで類似の役目を持つ中核地域支援センターが、野田市でいったいどのようにお役に立つことができるのか、手探り状態で事業が始まりました。この間、関係諸機関あるいは諸団体の皆様と連絡を取り合い、情報交換を行う中で、のだネットの役目も少しずつ見えてきたように感じられます。野田市の何でも相談窓口には、のだネットと野田市の各機関や利用者の皆様との間のパイプ役として大変お世話になっています。今後とも微力ながら、のだネットが何でも相談窓口のブランチとしての役目も果たすことができればと思っています。併せて、のだネットからさらに市民の皆様や諸団体へと枝が伸びるようにネットワークが広がっていくことを願っています。

この広報誌の発刊は、遅すぎたきらいがありますが、今後ひとつの情報誌として、またネットワーク構築の要としての役割を少しでも担うことを目的としています。忌憚のないご意見ご要望をお寄せ下さい。



## 中核地域生活支援センターのだネットに期待する

相馬 伸男（のだネットアドバイザー／（福）いちいの会 くすのき苑施設長）

昨年10月の立ち上げ以来、「障害種別を越えて、24時間・365日」をキャッチフレーズにあらゆる相談等を推進する県の新しい事業。

野田圏域（野田市）は市長を先頭に行政や諸団体が積極的に福祉施策や運動を推進してきた土地柄、そこに飛び込んでみただけのものどこまで貢献できるか、何より、そこで何をするのかを理解してもらう難しさ。

半年を過ぎて多くの方々の協力により、多少は名前と顔が知られるようになった。相談件数の多さや相談内容の深刻さに時として無力感を味わうことも日常茶飯事。「誰もが、ありのままに、その人らしく、地域で暮らせる社会」を目指す努力がそこにあります。

スーパーマンな仕事は無理ですが、地元に住まいする数多くの人材や事業所と連携し、幅広い支援体制を整えていくこと。一人ひとりと誠実に向き合い続けること。

そのような当たり前のことを当たり前にできるよう、法人施設としてのバックアップは微々たるものですが、共に野田の地に蒔かれた種を精一杯育てたい。

頑張ろう、のだネット！

## 中核地域生活支援センター・のだネットの活動状況

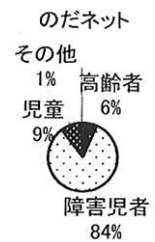
のだネットは、昨年10月から、社会福祉法人いちいの会が県の委託を受け活動しています。中核地域生活支援センターでは、子ども、障害者、高齢者等誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる地域社会を実現するため、24時間・365日体制で、地域総合コーディネート事業、相談事業、権利擁護事業を行なっています。中核地域生活支援センターは14の各健康福祉センターの圏域に1ヶ所ずつ設置されており、のだネットは野田健康福祉圏域（野田市）を担当しています。

次の表は、平成16年10月から平成17年3月までの活動状況を示したものです。



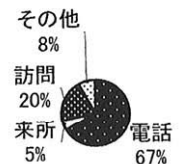
県内中核地域生活支援センター14ヶ所の総件 13368件（のだネット件数 1596件）

対象	県内中核合計		のだネット	
	件数	割合	件数	割合
高齢者	865	6%	101	6%
障害児者	10804	81%	1326	84%
児童	480	4%	151	9%
その他	1219	9%	18	1%
合計	13368	100%	1596	100%



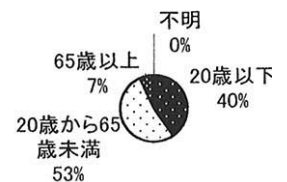
地域療育等支援事業からの継続もあり障害児者の相談が最も多い。

相談方法	県内中核合計		のだネット	
	件数	割合	件数	割合
電話	9123	68%	1062	67%
来所	1369	10%	81	5%
訪問	2483	19%	323	20%
その他	393	3%	130	8%
合計	13368	100%	1596	100%



電話相談が圧倒的に多いが身体障害者の方からのメール等の相談も増えてきている。相談内容は申請手続きの援助、権利擁護から就労支援まで幅広い相談を受けている。

年齢	県内中核合計		のだネット	
	件数	割合	件数	割合
20歳以下	2410	18%	641	40%
20歳から65歳未満	9524	71%	846	53%
65歳以上	1073	8%	107	7%
不明	361	3%	2	0%
合計	13368	100%	1596	100%



教育委員会のご配慮で教頭会の席上で当センターの事業説明を行なったことを契機に小中学校からの相談が増加した。

その他、16年度には、福祉・教育・医療等の関係者を集めての連絡調整会議（11月）やあいネットと共催の協働公開講座（1月）などを行ないました。

17年度も連絡調整会議や勉強会を開催する予定です。開催につきましては、この広報誌やチラシを通して皆様にお知らせしていきます。

また、協力機関として、ふれあい地域生活支援センター（福祉施設等）、地域福祉サポーター（資格は問いません）及び福祉救急隊員（有資格者）を募集しています。現在、既にいくつかの事業者さんにご登録いただいております。詳しいご説明をお聞きになりたい方やお問い合わせは、のだネットまでお願いいたします。

連携機関としては、野田市役所や野田健康福祉センター、社会福祉協議会、教育委員会、小中学校、保育園、野田養護学校、病院関係者、福祉施設関係者…と多くの方々にご指導・ご協力を頂いて支援活動を進めてきました。

これからも地域に根ざした活動ができるよう努力していきたいと思っております。



## あいネットと共催で自立支援法講演会を開催しました！

7月10日（日）午後1時、うだるような暑さの中、当事者や家族、福祉関係者の方など90名を超える参加者が会場である南コミュニティーセンターに集まり、関心の高さがうかがえました。

前半はワーナーホーム理事長であり厚生労働省「地域生活のあり方検討会」委員の寺田一郎氏による基調講演。私たちが今すべきこととして「状況をよく把握する」「自分たちの分析」「地域のニーズを知る」こと、市町村との連携が大切であるとのことのお話でした。厚生労働省「地域生活のあり方検討会」委員ということでリアルタイムの詳しいお話を伺うことができました。



後半は、野田市心身障害者福祉作業所所長の福田辰雄氏、野田芽吹学園施設長の佐藤守氏、寺田一郎氏をパネラーに迎えてのパネルディスカッション。コーディネーターをのだネット所長の山本が務めました。パネラー3人の方から自立支援法に対する考えを話していただいた後、会場からの質問を受け付けました。精神・知的・聴覚の各障害の方からの質問があり、この法律が自分たちの生活にどう関わってくるのか、施行後、生活がどう変わってくるのか、最新

の情報を求めていることがわかりました。まだ国会で審議中であり、細かい内容は決まっていない状況でしたが、当事者や関係者の方の声を聞くこともでき、有意義な勉強会になりました。こういう機会を繰り返し制度を良いものにしていきましょう。

くすのき苑より6名の職員に講演会スタッフとしてご協力いただきました。

### 障害者の相談窓口のご案内

千葉県障害児（者）相談支援事業（千葉県委託事業）をご紹介します。



この事業は、在宅で生活する障害児（者）が社会の一員として社会生活に参加し、地域で自立した生活が送れるように療育・相談体制の充実、各種福祉サービスの提供の援助、調整等を行なっています。

野田市では、野田芽吹学園、くすのき苑の2ヶ所で実施されており、野田市役所、中核地域生活支援センターと連携し、支援をしています。

まずはお電話にて、各施設にご相談ください。相談は、無料です。

#### ★（福）野田芽吹会・野田芽吹学園（知的障害者更生施設）

野田市下三ヶ尾875-1

☎04-7138-2181 / ファックス04-7138-2181

事業内容 ①訪問相談支援事業、②外来相談支援事業

#### ★（福）いちいの会・くすのき苑（知的障害者更生施設）

野田市木間ヶ瀬3121

☎04-7120-6667 / ファックス04-7120-6668

事業内容 ①訪問相談支援事業、②外来相談支援事業、③施設支援指導事業



## イベント案内

### ● 障害者差別をなくすためのミニタウンミーティング

- ・行政説明（千葉県健康福祉部障害福祉課）
  - ・シンポジウム（障害者差別をなくすための研究会副座長・高梨 憲司氏 他）
- 日時：11月6日（日）午後1時半～午後4時（無料）  
場所：南部梅郷公民館（☎7122-5402）  
主催：中核地域生活支援センターのだネット  
定員：80名 ☎7120-4112 FAX7120-4113（のだネット）

### のだネットスタッフ紹介・よろしくお願いします！

#### ★ 所長：山本 進

埼玉県社会福祉士会成年後見担当理事、福祉サービス第三者評価業務

#### ★ 地域総合コーディネーター：金城 和子

平成12年10月に入所更生施設くすのき苑が開設され、職員となる。平成14年10月より「障害児（者）地域療育等支援事業（県委託事業）」のコーディネーターを担当。平成16年10月より中核センターで地域総合コーディネーターとして、幅広く関われるようになり、今まで、困難とされていた事例や複合的事例に対しても、関係機関のご協力を得て、会議を開催する等、支援が円滑に進むようになりました。相談者一人ひとりの問題が解決するまで寄り添う姿勢は、これからも貫き、本人や家族が地域で安心して暮らせるための福祉サービスの提供や支援を共に考えていきたいと思っております。気軽に声をかけてください。

#### ★ 在宅障害児（者）コーディネーター：五十嵐 孝子

埼玉県内にある精神障害者の社会復帰施設に3年程勤務。その後、東京都内の精神病院の相談室に精神保健福祉士として勤務。縁があって野田市内に暮らすこととなり、くすのき苑でのボランティア活動を通じて、6月からコーディネーターとして中核センターに勤めることになりました。相談者や家族の良き伴走者となれるよう頑張ります。

#### ★ 相談員：西野 美喜子

社会福祉学科を卒業し、4月から中核センターの相談員として採用されましたが、まだまだ未熟なため、野田市の青年学級に参加させていただく等、地域の活動を通じて勉強させていただいております。これから手話や様々な福祉制度についても勉強し、相談に生かせるように頑張っていきます。



#### 編集後記

皆様のご協力により、「のだネット通信」第1号を発行することができました。これからは3ヶ月に一回の発行を目指しています。「こんな記事を書いて欲しい」「こんなことを知りたい」などのご要望をはじめ、「のだネット通信」のご感想、厳しいご意見等をのだネットまでお寄せください。皆様と共に地域の情報源となる通信を作っていきたいと思っております。


このままファックスにて、送信ください。      ファックス番号04-7120-4113